

PCmaas(PC-MAPPING as a Service) 開発中

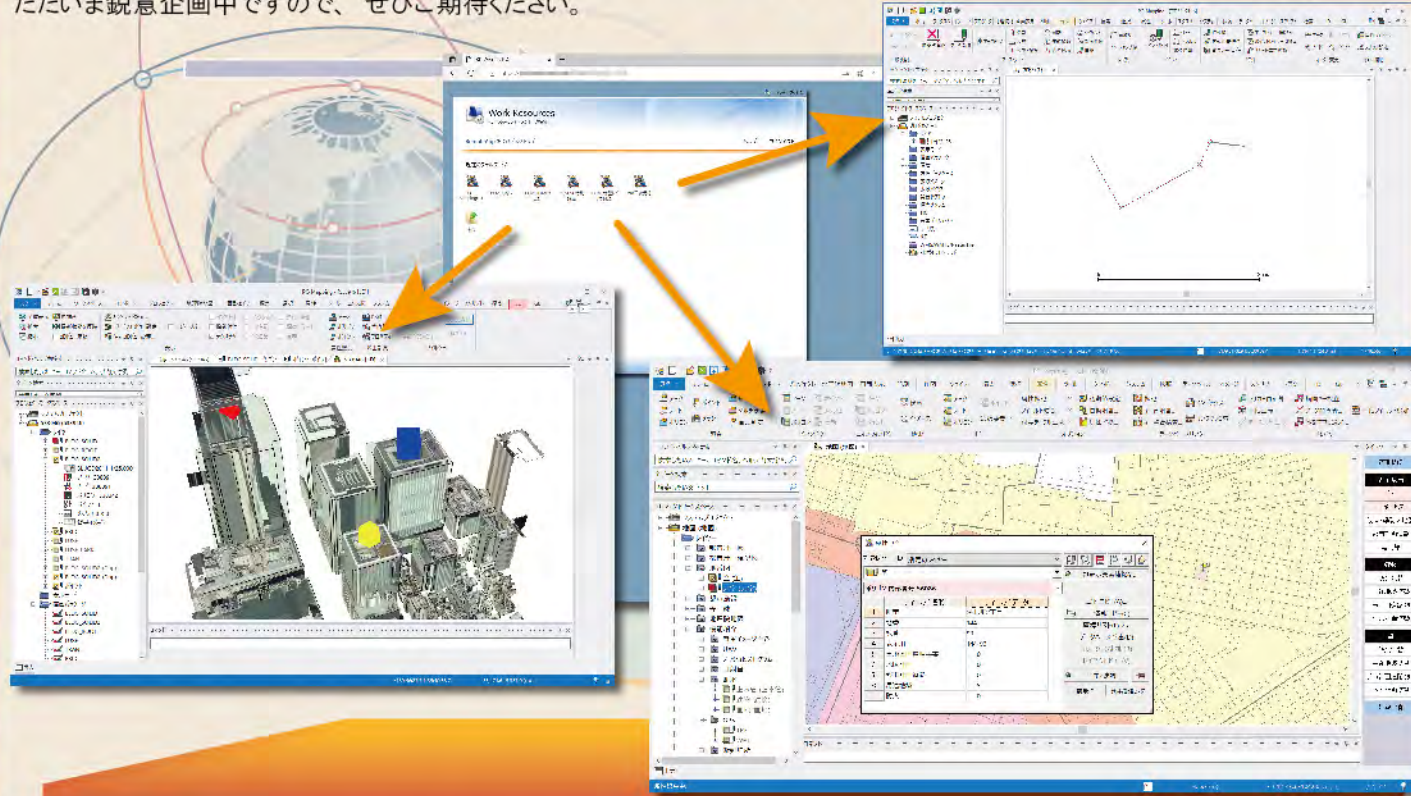
情報システムのクラウド化の動きが各方面で進んでいます。

この流れは GIS コミュニティにおいても強く、SaaS（Software as a Service：クラウドサービスとして提供されるソフトウェア）として GIS を利用するニーズは高まっており、マブコンでも、PC-MAPPING をクラウド GIS としてご提供するための取り組みを始めています。

クラウド GIS では、データの管理や実際の処理はクラウドサーバー側で行われ、クライアント機には 操作結果の画面のみが送られます。そのため、使い慣れた Windows アプリケーションと同じようにお使いいただけるリモートアプリケーションでご提供します。

また、PC-MAPPING ユーザーなら、現在の利用環境をそのまま移行することもできます。

SaaS としてのご提供だけでなく、PC-MAPPING をクラウド環境で運用するためのツールやサポートのご提供も検討しております。ただいま鋭意企画中です。ぜひご期待ください。



クラウド GIS のメリット

- ・クライアント機にソフトウェア（PC-MAPPING）をインストールする必要がない
- ・ベースマップを複数ユーザーで共有することで、データ更新のコストを抑えられる
- ・利用量に応じたスケーリングが可能

ネット認証ライセンス

ネット認証ライセンスへ移行されるユーザー様が徐々に増えています。ネット認証ライセンスは起動時にインターネット経由で外部のライセンスサーバーを利用して、ライセンス認証を行う仕組みです。

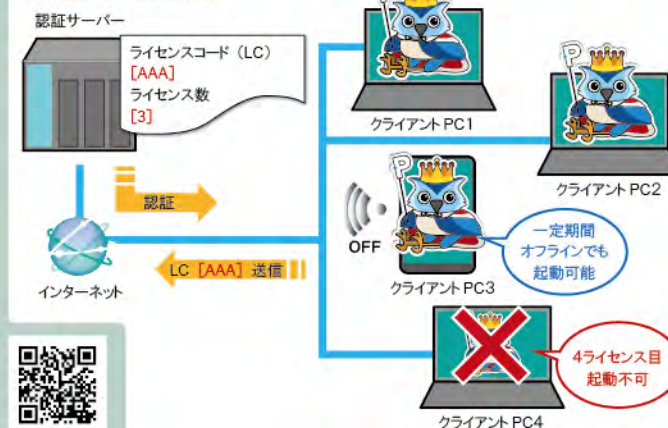
物理的に PC に装着するプロテクトキーと異なり、

- 拠点が離れていても、効率的にライセンスを使える
- ライセンス追加、保守（BSS）更新などお客様の操作は不要
- プロテクトキーの破損や紛失などで業務が止まることがない
- 設定により、インターネットが使用できない環境でも使える

といったメリットが挙げられ、ライセンスを効率よく利用いただけます。ぜひこの機会にネット認証への切り替えをご検討ください！

保守（BSS）加入中であれば、変更費用は発生いたしません。

ネット認証ライセンスの例



株式会社 マブコン

<https://www.mapcom.tokyo/>

※出簡調は株式会社マブコンの登録商標です。
※PC-MAPPING は株式会社マブコンの登録商標です。
※Windows 8.1, Windows 10, Windows 11, Access は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
※その他、記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です。

2023年度

4月からのお知らせ

PC-MAPPING Ver.8 をご利用いただきありがとうございます。

データをインポートして確認するだけではもったいない PC-MAPPING。

大量の機能を有効に使い、これまで以上に業務にお役立てください。

PC-MAPPING ISC 講座、導入講座 動画 4 月以降配信予定！

「ISC 講座を受けたいけど、対面やリモート研修の時間が取れない。」

「前任者がいなくなって、導入講座を受けたいけど、再度導入講座費用を払うのは・・・」

といった声に応じて、「ISC 講座」、「導入講座」を動画配信予定です。

一日にすべてを受講するのではなく、長くて 10 分程度の動画をご用意します。

機能ごとに細分化された動画を見ることで、知らなかった機能、忘れていた機能を再確認できます。

導入講座編（配信予定）

第1章：空間データの基本構造

- 1-1. 画面の表示操作
- 1-2. アークを作成する
- 1-3. ポリゴンを作成する
- 1-4. 親子ポリゴンの作成
- 1-5. 構造化ポリゴンと 1 アーク 1 ポリゴン

第2章：データのインポートとデータ構成の確認

- 2-1. インポートとプロジェクト構成の確認
- 2-2. レイヤー設定の確認

第3章：トレースによる地図データの作成

- 3-1. 図面の正規化
- 3-2. プロジェクトの生成
- 3-3. 筆界点のインポート
- 3-4. 筆界点のトレース
- 3-5. 筆ポリゴンの生成

第4章：属性データの作成

- 4-1. 利用するデータの確認
- 4-2. 辞書データベースの登録
- 4-3. 属性データベースの登録
- 4-4. データベースリンク設定
- 4-5. ID の入力

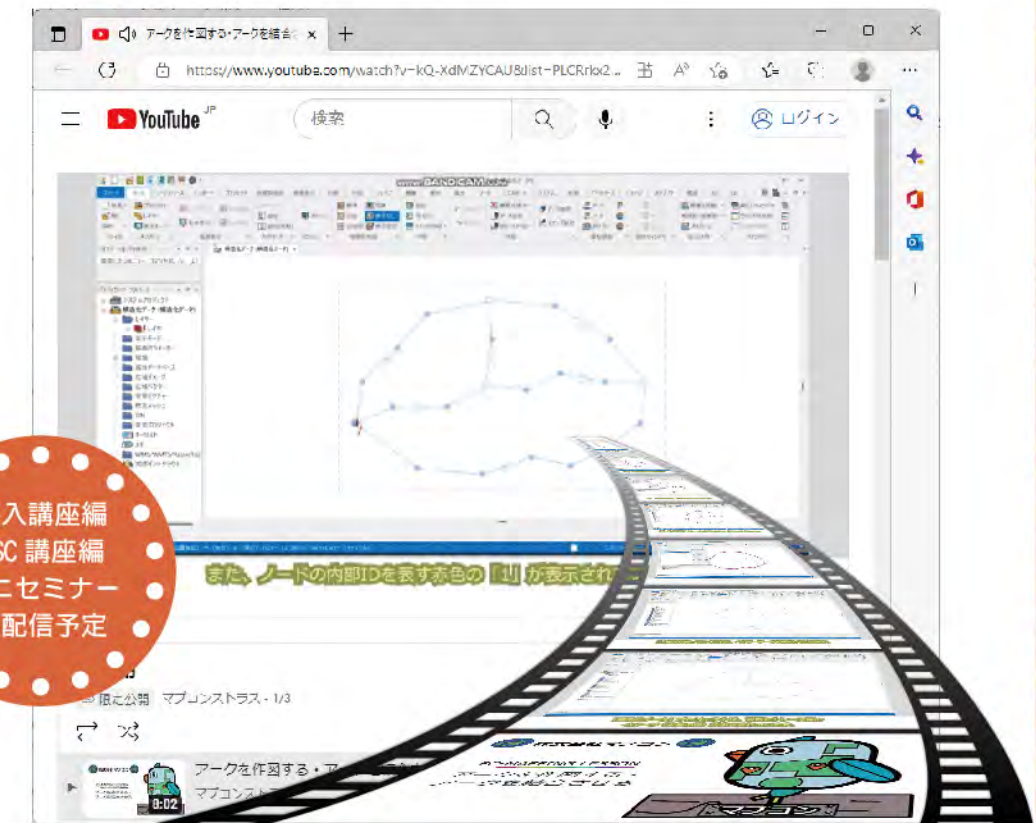
第5章：データの利用

- 5-1. ポリゴンの着色
- 5-2. 属性データからの検索
- 5-3. 空間データ解析

第6章：表示設定

- 6-1. シンボルの作成
- 6-2. シンボルの着色
- 6-3. シンボルの表示
- 6-4. ポリゴン 塗りつぶしパターンを設定

導入講座編
ISC 講座編
ミニセミナー
を配信予定

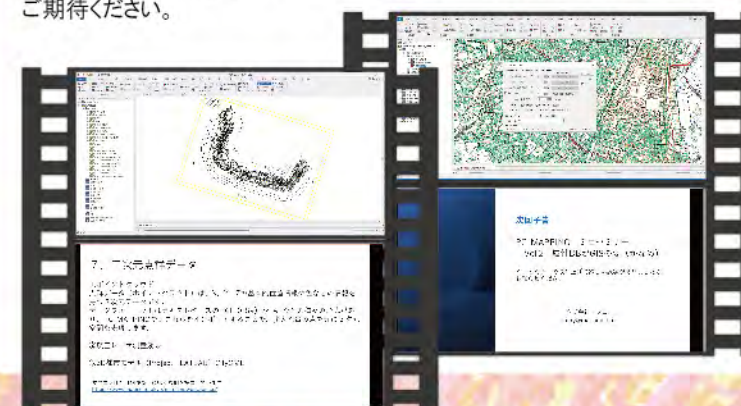


ミニセミナー

ミニセミナーは、これまでの「ISC 体験講座」の内容をベースに、2 時間ほどで一単元を終了できるように凝縮した動画となっております。

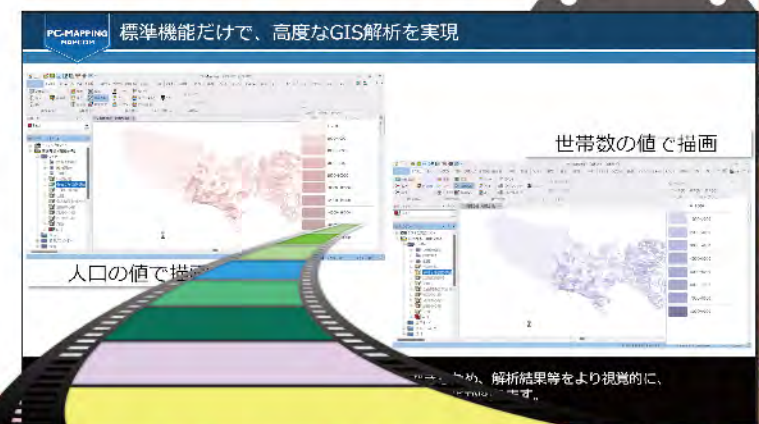
実際に操作を行いながら受講いただけるので、手軽に PC-MAPPING チャレンジ・再チャレンジをお手伝いします。

配信開始の際には、ホームページ、ツイッター等でお知らせいたしますので、ご期待ください。



製品紹介

製品の概要や特長について、動画で分かりやすくご紹介いたします。パンフレットだけでは伝わらない製品情報を映像でご覧いただけますので、利用場面をイメージしながら、課題解決のためのツールとなるかご評価いただけます。



GPS 機能強化

GPS 軌跡とビデオファイルがリンクされたプロジェクトでのリレーション起動や、VideoPlay2 コマンドからの「ビデオウィンドウ」(VideoSeeker)に関して、現在コマの時間位置を 10 ミリ秒まで(秒単位での小数 2 桁)表記するようにしました。

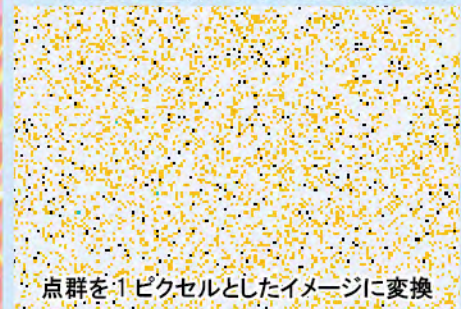
VideoPlay2 コマンドでの時間位置オプション -t も同様に小数 2 桁まで対応しました。

VideoSeeker ウィンドウのシステムメニューに「(360°モード) 現在の視野方向を初期値にセットする」を追加しました。



LAS を画像ファイルに変換

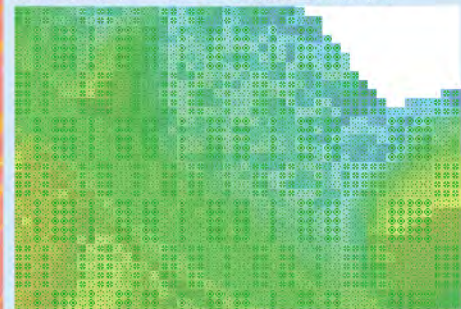
【LAS から画像生成】を追加しました。指定された LAS ファイルから、クラス情報に対応する色を指定して、1 点が 1 ピクセルに対応した画像ファイルを生成します。



点群を 1 ピクセルとしたイメージに変換

LAS から標高メッシュ生成

【LAS ファイルから指定の解像度で標高メッシュデータを作成】を追加しました。集約された点数や標準偏差、中央値などもポイントデータとして取り込めます。



基準視野角 (x 方向) 設定

360 度対応画像・動画表示時に、「(x 方向) 基準視野角」※を、60 度～160 度で設定するスライダーを追加しました。



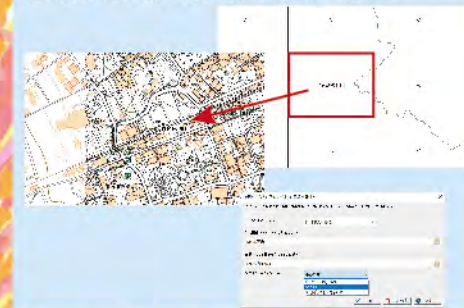
※マウスホイールで拡大・縮小ができますが、一番縮小した状態での x 方向(一般的には水平方向)の視野角を意味しています。

ポリゴン求積表生成

【ポリゴン求積表生成】を追加しました。ポリゴンの座標値から丸め桁数と左右まわりを指定して面積を求め、求積表を生成します。

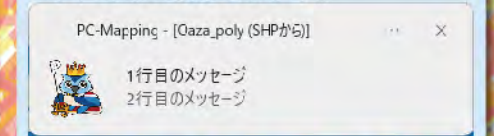
図郭座標付与

【図郭座標付与】を追加しました。前景レイヤーの矩形ポリゴンの座標を指定の内部属性がファイル名と一致する画像の図郭座標として付与します。



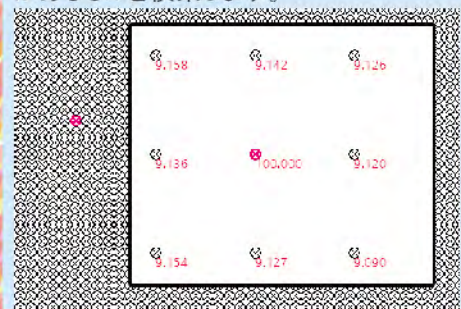
ToasterPopup

2 行のメッセージを Windows10 以降に実装された通知領域に送出・表示させます。バックグラウンドで長い処理をするケースなどで、スクリプトで成否確認ができた時などに使用するコマンドです。Windows 設定で通知設定が ON になっている場合、OS 自体に通知機能がない場合は、従来のポップアップ型のメッセージウィンドウに表示されます。



ポイント変則 Z 値検索

【ポイント変則 Z 値検索】を追加しました。前景レイヤーのポイントデータを走査して、周辺のポイントデータの Z 値より異常に差があるものを検索します。



【UAV 撮影コース設計 (カメラ撮影)】機能強化

【UAV 撮影コース設計 (カメラ撮影)】に、【UAV 撮影コース設計 (レーザースキャナー)】には実装されている「相対高度で斜面を飛行する場合、隣接斜面との接近箇所の検知距離」を追加しました。相対高度で斜面を飛行する場合、しきい値 (距離m) を指定して、隣接斜面に接近しすぎている箇所を検出します。



【法務省地図 XML インポート】機能更新

【インポート】-【総務省・法務省】-【法務省地図 XML フォーマットデータ】でインポートできる法務省民事局の地図情報システムデータのインポート形式に ZIP 圧縮されたファイルをそのままインポートする機能を追加しました。※ご利用時には、G 空間情報センターのホームページから地図データをダウンロードする際に、利用規約を確認し、これに同意いただくことになっています。

【クラウド最適化 GEOTIFF の生成】

【システム】-【画像】-【最適化 TIFF】を追加しました。クラウド最適化 GeoTIFF の生成 (Cloud Optimized GeoTIFF) 座標のある画像からクラウド環境に最適化 (タイル化、縮小画像込み) された TIFF 画像に変換します。

【GeoJSON (ベクトルタイルエクスポート)】

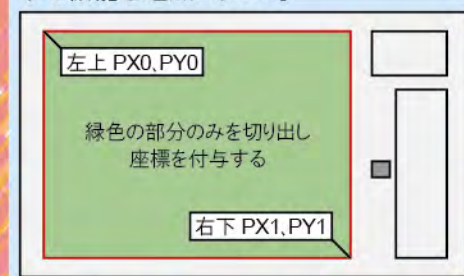
【エクスポート】-【Web タイル】-【ベクトル (GeoJSON) タイル】に、「(GeoJSON でなく) バイナリーベクトルタイル (MVT) を出力する」チェックボックスを追加しました。

巨大 TIFF 画像

統合広域イメージの生成時に、その元データとしてタイル分割された (巨大な) TIFF ファイルを扱えるようにしました。

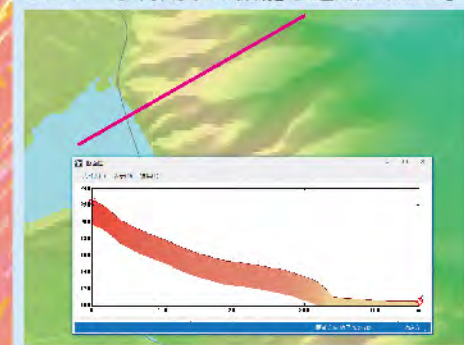
画像ファイルへの図郭座標付与

【矩形ポリゴンから画像図郭座標付与】機能を強化しました。図内のピクセル値を指定して、指定した部分を切り出し、ポリゴンの四隅座標を付与する機能を追加しました。



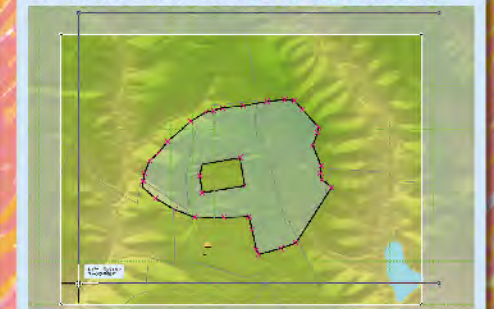
「断面図」の背景塗りつぶし

「断面図」表示時の背景塗りつぶし処理時、指定する、他標高メッシュデータの値とカラーを利用する機能を追加しました。



印刷枠スナップ

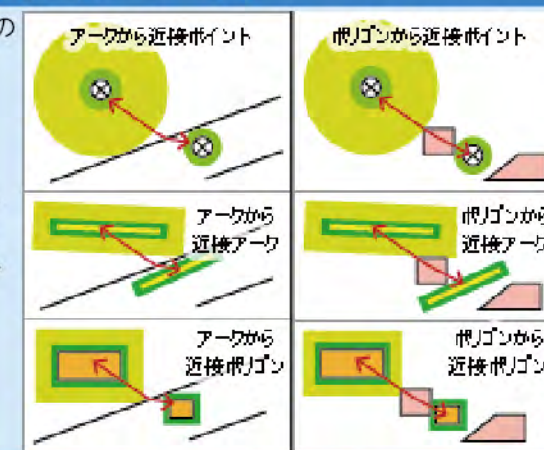
ALT キー押下 + 四隅クリックで、移動モードかつスナップ設定に従い、スナップマーカもスナップツールチップも表記して、印刷枠をスナップ操作できるようになりました。



属性転記 (レイヤー間)

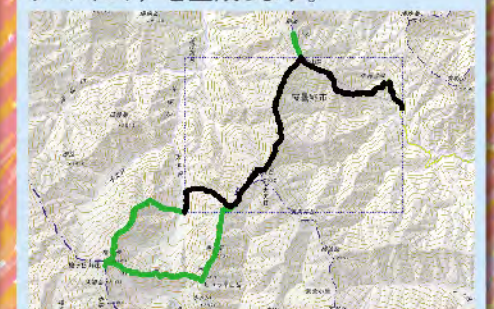
【属性転記 (レイヤー間)】に以下の機能を追加しました。

- ・アークから近接するポイント
- ・アークから近接するアーク
- ・アークから近接するポリゴン
- ・ポリゴン外周から近接するポイント
- ・ポリゴン外周から近接するアーク
- ・ポリゴン外周から近接するポリゴン



GPS ログから軌跡ベクター

【GPS ログファイル群から軌跡ベクター生成】を追加しました。複数の GPS ログファイルから軌跡ベクターファイル (アーク・ポイント) を生成します。



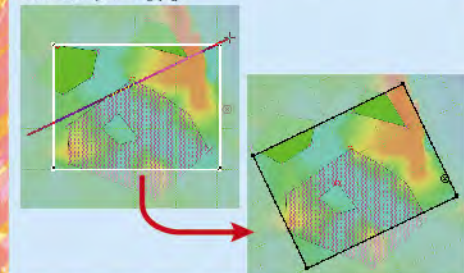
ポイント群のピーク探索

【ポイント群のピーク探索】を追加しました。レイヤーポイントデータ群から指定の探索範囲で Z 値が最大となるポイントを検索して、選択状態にします。



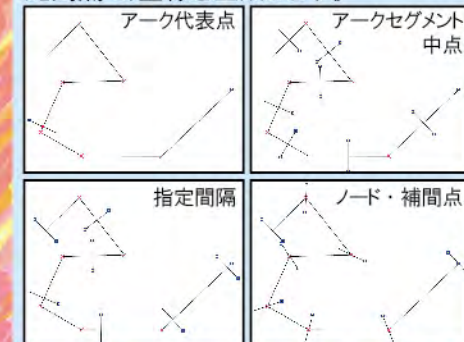
印刷枠回転

回転ダイアログに【図上 2 点指定】ボタンを追加しました。図上で 2 点を指定して、回転角度が指定できます (通常通り【Shift】キー押下でのスナップ可)。



アークから垂線アーク生成

【垂線アーク生成】の機能に「指定間隔」を追加しました。アークの始点からの指定間隔で、垂線を生成します。



文字列オフセット

【レイヤーエクスポート】-【キーリスト】に @FontOffsetX=0.5 @FontOffsetY=0.5 と、設定することで、描画時の文字位置の微調整ができるようになりました。

